



猪苗代町長

前後

ひろし 公

新しい年の門出に当たり、日ご
る町政にお寄せいただいております
すご支援、ご協力に對しまして、
ここに深く感謝申し上げます。

昨年は東日本大震災、東京電力
福島第一原子力発電所事故やそれ
に伴う風評被害の三重の被害を受
けた年でありました。被害にあわ
れた皆さんに心からお見舞いを申
し上げます。

本町でも、家屋などの建物被害
に加え、道路や上下水道などのラ
イフラインに甚大な被害をうけま
したが、地震発生直後からの消防
団、行政区長や町民の皆さんの素
早い対応によって、被害を最小限
に食い止めることができました。

風評被害対策では関係団体の皆
さんと共に「風評被害対策連絡会
議」を設置し、首都圏での農産物
の販売や観光PRに努めるととも
に、町内でも積極的にイベントを
開催し、風評の払しょくに努めて
まいりました。復興に向け、これ
からも全力を尽くしてまいります。

昨年、磐梯山周辺が「日本ジオ
パーク」に登録されたことや2月

に「2012第5回スペシャルオ
リンピックス冬季ナショナルゲー
ム福島大会」が開催されることは、
本町の観光の復興に向けた起爆剤
になるものと期待しております。

私は「猪苗代町の活性化と発
展」「町民の暮らしを守り、未来
への希望の持てる町づくり」とい
う新たな町政の原点に立ち、①町
民総参加の町政の実現②健全でわ
かりやすい行財政基盤の確立③観
光と農商工業と一体となった活気
ある町づくりの推進④町民の安全
安心な生活を守る施策の展開⑤少
子化・高齢化対策などきめ細やか
な福祉体制の確立⑥地域を担う豊
かな人づくりの推進という6つの
宣言をいたしました。

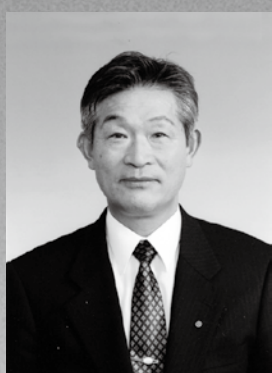
これらに基づく重点整備事業や
復興に向けた施策を進めながら、
町政進展に尽くしてまいりますの
で、ますますのご支援ご協力をお
願い申し上げます。

町民の皆さんにとりまして、幸
多い年でありますよう心からご祈
念申し上げ、新年のごあいさつと
いたします。

猪苗代町議会議長

鈴木

たけき 武喜



謹んで新年のご挨拶を申し上げ
ます。

昨年3月11日に発生した東日本
大震災によって亡くなられた皆さ
まに深く哀悼の意を表するととも
に、被災された皆さんに心からお
見舞いを申し上げます。

昨年は、観測史上最大の規模と
いう大地震と大津波によって、東
北地方と関東地方の太平洋沿岸部
が壊滅的な被害を受け、死者・行
方不明者は2万人を超えるという
未曾有の大災害が発生した年であ
りました。

福島県においては、その大地震
と大津波によって、東京電力福島
第一原子力発電所が重大な原子力
事故を起こし、周辺一帯の住民の
皆さんが放射能被曝から逃れるた
め、長期にわたる避難を強いられ
ている状況にあります。

本町におきまして、大地震に
よって家屋や道路、上下水道など
のライフラインが損壊するなどの
被害はありましたが、幸いにも人
命が失われることはありませんで
した。しかし、原発事故により飛

散した放射性物質という見えない
脅威と風評にさらされており、直
接的、間接的な被害を受けている
状況にあります。

町内の環境放射線量は、今すぐ
にでも避難をしなければならない
という高い数値ではないようです
が、この数値がどの程度人体に影
響を与えるのか不安が募る一方で
あります。特に、妊婦や小さいお
子さんをお持ちのご家庭の心労は
いかにかりかたご推察いたします。

本町では、基幹産業である農業
と観光業に対する風評被害が深刻
化しております。議会といたしま
しても、これらの諸課題の解決の
ため、行政と力を合わせ、町が一
丸となって対策に当たります。町
民の皆さんが安心して暮らせる町
づくりと地域の活性化に取り組ん
でまいりますので、本年も変わら
ぬご支援とご協力を賜りますよう
お願いを申し上げます。

町民の皆さんの限らない幸せと、
穏やかな毎日でありますことを念
じまして、新年のご挨拶といたし
ます。

年頭の ごあいさつ



猪苗代町教育長

土屋

しげのり 重憲

町民の皆さんには、お健やかに
新年をお迎えのことと、お察し申
し上げます。

昨年2月、本町では、全国から
約2千人の選手・役員の皆さん
をお迎えし、第48回全国中学校ス
キー大会が開催されました。県、
町を始め、多くの皆さんから物心
両面にわたるご支援を賜り、本県、
本町出身選手の活躍もあつて大き
な成果を上げ成功裏の内に終える
ことができました。

3月に入ると、日本人にとって
忘れ得ぬ日となった3・11の大震
災、原発事故に見舞われました。
本町にも一時は3千人を超える皆
さんが避難し、その内の子どもた
ち約200人を各幼稚園、小中学
校で受け入れ、対応してきました。

大変な年でありましたが、風評
被害を吹き飛ばし、誘客に努め町
の活性化を図るべく、ゼビオ猪苗
代湖ハーフマラソン、県高等学校
駅伝など多くのスポーツイベント
が行われました。さらに、10月に
は保科正之公生誕400年に関わ
る各種の記念行事も行われ、今冬

は、障害者の皆さんによるスベ
シヤルオリンピックスも本町での
開催が予定されております。また、
11月の福島駅伝での町選手団の大
活躍は記憶に残るところです。

学校関係では、長瀬小学校の
マーチングバンドが、2度
の東北大会出場を果たし、
優秀賞を獲得しました。

県中体連駅伝大会での
猪苗代中学校による久
々の入賞、猪苗代中バ
ドミントン部（富岡一
中からの生徒）の全国
大会5部門優勝という
華々しい活躍もありました。

震災・原発事故からの復
旧・復興関連では、特に放射線健
康リスク管理に関する点を中心と
して、未だその道筋が明確でない
など、容易でない状況にありま
す。やがてこの復旧・復興を受け
継いで頑張ってもらうのは、現在
の幼、小中の子どもたちに他なり
ません。教育行政に對しましての
ご理解、ご支援のほど切にお願い
申し上げます。